

アジアコスモポリタン賞受賞記念 奈良フォーラム2017

2017年1月15日~16日に、アジアコスモポリタン賞の受賞を記念する「アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2017」が開催された。本賞は、東アジア域内における文化面・経済面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長社会形成などの点で優れた貢献が認められた個人・団体に対し、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)が贈呈する国際賞であり、今回のフォーラムは第3回受賞を記念して開催され、3名に賞が授与された。

大賞：テイン・セイン 前ミャンマー連邦共和国大統領
経済・社会科学賞：藤田昌久 甲南大学特別客員教授
文化賞：ヘルマン・ファン＝ロンパイ 日EU俳句交流大使

【1月15日】

■開式

オープニングとして笙奏者の田島和枝さん、笛奏者の雲龍さんにより、幸福と繁栄の祈りを込めて「吉祥 音開き」が演奏され、その音色が会場内に響き渡った。

続いてERIA事務総長の西村英俊氏より、開会の挨拶として祝辞と謝辞が述べられ、本賞の趣旨とともに、「まさに21世紀のこれからの時代、アジアこそ世界の発展の原動力であり、アジアから世界にコスモポリタンとして活躍する」という「アジアコスモポリタン」という言葉に込めた意味について語られた。

■授賞式

第3回受賞者の3名は、東アジア16か国を代表する経済・政策研究機関からなる推薦委員等によって候補者として推薦された人物であり、選考委員による選考を経て受賞が決定された。壇上では、各受賞者への正賞として吉野杉材を使用した楯と「コスモポリタン」をイメージした透明感のあるトロフィーが贈られ、副賞として奈良県の伝統工芸品である赤膚焼の燈火器が贈呈された。

大賞を受賞したテイン・セイン氏は、「本日いただいた大賞は、ミャンマーの国民を代表して受け取ったものだと考えている」と喜びを語った。また、経済・社会科学賞を受賞した藤田昌久氏は「今回の受賞を契機として、世界経済社会の発展に向けて、空間経済学をより高い視点から一層発展させたい」、文化賞を受賞したヘルマン・ファン＝ロンパイ氏は「俳句こそ、まさにコスモポリタンになることができる詩句であり、日本と東アジア、EUの文学の架け橋の一つである」と語った。



■受賞記念フォーラム

主催者である奈良県を代表し、荒井正吾知事が「毎回奈良で授賞式が開催されることは奈良県にとって誇りと名誉の極みである」と挨拶し、また、今回のフォーラムが雪景色の奈良で開催されたことを受けて創られたヘルマン・ファン＝ロンパイ氏の俳句と、知事による日本語訳が紹介された。

“Nara in the snow

Beauty is falling down,

It covers right and wrong.”

「奈良美雪 全ての罪を 覆いけり」

続いて、前国連日本代表部特命全権大使の吉川元偉氏が「国連におけるアジアの役割」と題して基調講演を行い、「アジアが国連で果たすべき役割は、過小代表の解決と地域紛争の平和的解決。日本は諸問題に対して他国へ呼びかけ、協力し、問題解決を行っていく必要がある。」と語った。

■受賞記念講演

大賞を受賞した前ミャンマー連邦共和国大統領のテイン・セイン氏が「ミャンマー民主化の夜明け」と題して自身の半生やミャンマーの発展への道のりについて語った。

次に経済・社会科学賞を受賞した甲南大学特別客員教授の藤田昌久氏が「グローバル化と多様性—空間経済学の視点から—」と題し、これから歩むべき知識創造社会には多様性が不可欠であり、多様性の中で人間社会も発展するべきであると語った。

最後に文化賞を受賞した日EU俳句交流大使のヘルマン・ファン＝ロンパイ氏が、今や日本だけでなく世界的に人気を高めている俳句が、今日のグローバル化し、不安と不確実性に満ちた世界の混乱を解く鍵となると語った。

【1月16日】

■教育プログラム（受賞者による特別講義）

受賞者による大学生を対象とした「特別講義」が県内二つの大学で行われた。経済・社会科学賞の藤田昌久氏が帝塚山大学で「グローバル化と多様性—『パベルの塔の物語』の再考—」をテーマに、また、文化賞のヘルマン・ファン＝ロンパイ氏が奈良大学で「今日のグローバル化し緊迫した世界情勢下での俳句の役割」と題して講義を行い、それぞれ集まった学生が見識を深めた。